



■呼吸器内科医長 藤原 慶一

概要

呼吸器系専門病棟（10階B病棟：呼吸器内科と呼吸器外科で構成され、病床数48床）を中心に、常時40～60人、年間1000人を超える入院患者に対応しています。呼吸器専門医（日本呼吸器学会）、気管支鏡専門医（日本呼吸器内視鏡学会）、がん治療認定医（日本がん治療認定医機構）、

がん薬物療法専門医（日本臨床腫瘍学会）である常勤医師とレジデント／内科専攻医が診療に当たっています。COVID-19診療では、基本的に内科全科が持ち回りで担当していますが、当科は主に重症患者を担当しています。

当科の診療の特色

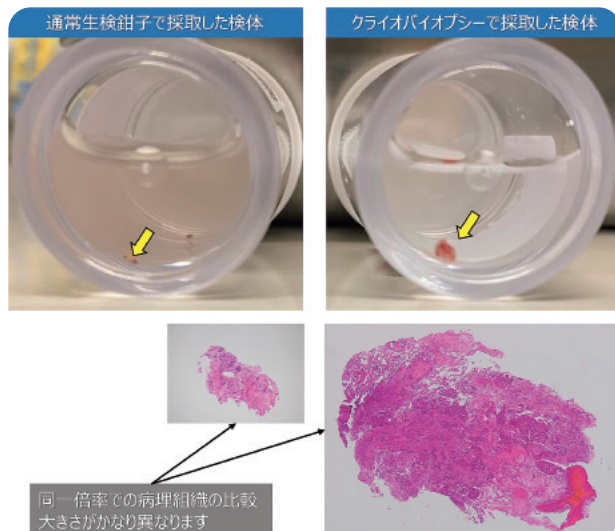
呼吸器疾患全般を幅広くカバーした診療を行っています。また、呼吸器疾患は全身の臓器にまたがっていることも多く、他の専門診療科と密に連携して診断・治療を行っています。

1) 気管支鏡検査

年間約300～350例に気管支鏡検査を行っています。ガイドシース法、EBUS-TBNAなどのデバイスを用い、仮想気管支内視鏡や迅速細胞診を組み合わせることで診断率の向上を図っています。また、近年クライオバイオプシーを導入し、十分な検体を採取することに力を入れています。



当院での気管支鏡検査の風景



クライオバイオプシーで採取した検体

2) ガイドラインに準じた肺癌の治療

最新の日本肺癌学会「肺癌診療ガイドライン」に基づいた治療を提供しています。十分な検体を採取することで、ドライバー遺伝子異常の有無、PD-L1発現をルーチンに検索しており、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤を用いた治療を積極的に行っています。がんセンター東病院を中心とした全国規模のLC-SCRUM研究にも参加しています。また、科学的根拠に乏しい治療後期の患者さんに対しても、「決して諦めない肺癌治療」をモットーに診療しています。

3) 間質性肺疾患の診療

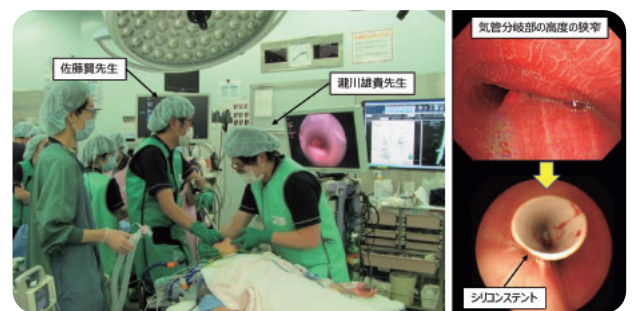
急性増悪による呼吸不全に対する治療（人工呼吸管理、ステロイドパルス療法、免疫抑制剤を用いた治療）に加え、ピルフェニドンやニンテダニブなどの抗線維化剤を比較的初期の段階から導入しています。

4) 気管支喘息の治療

ステロイド/長時間作用型 β 2刺激剤などの吸入療法のみならず、生物学的製剤（オマリズマブ、メボリズマブ、ベンラリズマブ、デュピルマブ、テゼペルマブなど）をコントロールが難しい患者さんに使用しています。

5) 硬性気管支鏡による処置

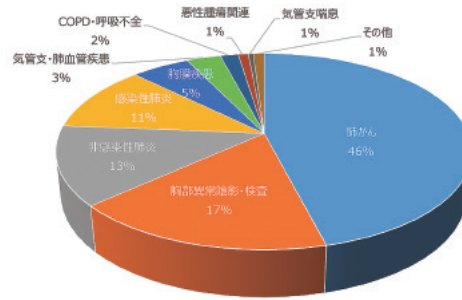
全身麻酔下に硬性気管支鏡下で、気道狭窄に対するシリコンステント挿入や腫瘍・肉芽に対する焼灼などの高度な手技を行っています。中国・四国地方では当院を含め数施設でしか行っていません。



硬性気管支鏡での処置

入院実績

2022年度主要入院患者数：新入院患者数1,076人



岡山医療センター呼吸器内科の現在

外来は常勤医7名が交替で診療しています。2024年4月から当院で研修医、専攻医、レジデントとして研鑽を積んだ瀧川雄貴先生が常勤医に昇任となりました。日常診療のみならず

若手医師の育成にもより一層力を入れてくれるものと期待しています。

(外来担当表)

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
初診外来	佐藤(晃)		佐藤(賢)		渡邊		工藤		瀧川	
通常外来	工藤		藤原		佐藤(晃)		渡邊 柴山		佐藤(賢) 藤原	

病棟はレジデント／内科専攻医が主体となって対応します。呼吸器内科専攻医は現在計7名となっており、内科専攻医1年目で将来呼吸器内科をsubspecialtyとする医師3名が新たに我々の仲間に加わりました。本年度は内科各科をローテーションすることになっています。レジデント／内科専攻医は病棟業務の主力であり、地域の先生方と密に連携を取り合うこともあろうかと思っておりますので、どうぞよろしくごお願い致します。

また、診療だけでなく研修医の指導にも力を入れています。学会発表、論文作成についてもきめ細やかな指導を心がけており、呼吸器内科の明日を担う人材の確保・育成をめざしています。



2023年12月16～17日に開催された第69回日本呼吸器学会中国・四国地方会／第32回日本呼吸器内視鏡学会中国四国支部会において、当科レジデントと研修医数名が優秀演題賞を受賞しました。

徳島学会発表集合写真

スタッフの紹介



NHO岡山医療センター呼吸器内科スタッフ

柴山 卓夫 (昭和61年卒)	院長
藤原 慶一 (平成8年卒)	医長
佐藤 賢 (平成9年卒)	医長
佐藤 晃子 (平成10年卒)	常勤医
工藤健一郎 (平成18年卒)	常勤医
渡邊 洋美 (平成22年卒)	常勤医
瀧川 雄貴 (平成28年卒)	常勤医
中村 愛理 (平成30年卒)	レジデント
藤原 美穂 (平成30年卒)	レジデント
松尾 涼果 (平成30年卒)	レジデント
井上 智敬 (令和元年卒)	内科専攻医
市川 健 (令和2年卒)	内科専攻医
松本奨一朗 (令和2年卒)	内科専攻医
郷田 真由 (令和3年卒)	内科専攻医 (広島市民病院にて研修中)
白羽 慶祐 (令和3年卒)	内科専攻医 (NHO岩国医療センターにて研修中)
大後戸智也 (令和4年卒)	内科専攻医
北野 統己 (令和4年卒)	内科専攻医
笹埜 侑斗 (令和4年卒)	内科専攻医